

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公表番号】特表2007-505180(P2007-505180A)

【公表日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-525813(P2006-525813)

【国際特許分類】

C 08 L 51/04 (2006.01)

C 08 K 5/13 (2006.01)

C 08 K 5/372 (2006.01)

C 08 K 5/3492 (2006.01)

【F I】

C 08 L 51/04

C 08 K 5/13

C 08 K 5/372

C 08 K 5/3492

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月31日(2007.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

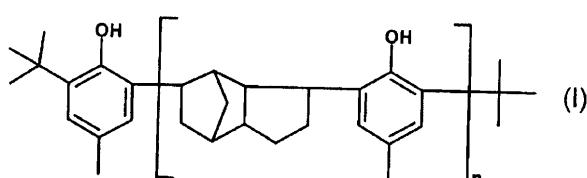
【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) ポリブタジエン又はポリブタジエン-スチレンにおけるメチルメタクリレート及びスチレンのグラフトコポリマー(メチルメタクリレート-スチレン-ブタジエングラフトコポリマー MBS)であるポリマー；

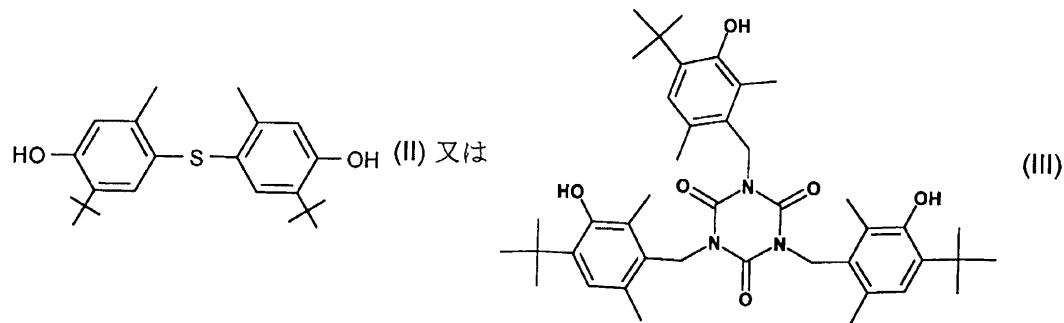
b) 式(I)、(II)又は(III)

【化1】



(式中、nは1ないし10を表わす。)

【化2】



で表わされる立体障害性フェノール系抗酸化剤又はそれらの混合物；及び

c) 式 (II) で表わされるものとは異なるチオエーテル；
を含む安定化されたポリマー組成物であるが、但し、ブタジエンにおけるグラフトコポリマーではない他のスチレンポリマー又はコポリマーが存在しないポリマー組成物。

【請求項2】

固体状態の請求項1記載の安定化されたポリマー組成物。

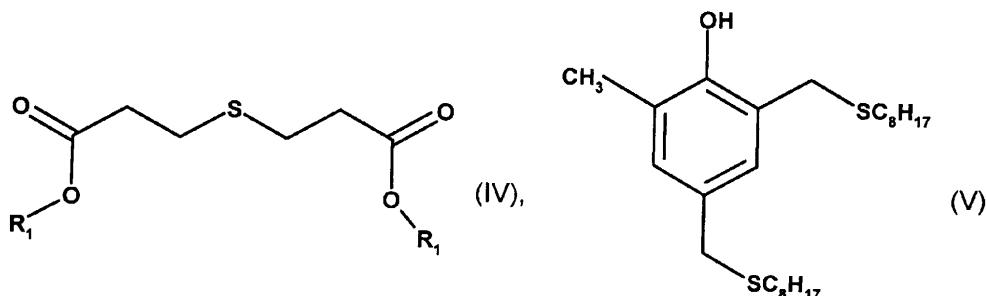
【請求項3】

粉末又は粒質物形態の請求項2記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項4】

チオエーテルが、式 (IV) 又は (V)

【化3】



(式中、R₁は、独立して、炭素原子数8ないし20のアルキル基を表わす。)で表わされる化合物である請求項1記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項5】

立体障害性フェノール系抗酸化剤とチオエーテルの比が1:1ないし1:5である請求項1記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項6】

更に、請求項1に記載したものとは異なる更なる立体障害性フェノール系抗酸化剤、ホスフィット加工安定剤、UV吸収剤、立体障害性アミン光安定剤、金属不活性化剤、酸掃去剤、脂肪酸の金属塩、蛍光増白剤、殺生剤又は界面活性剤を含む請求項1記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項7】

ブタジエンにおけるグラフトコポリマーではない他のスチレンポリマー又はコポリマーが存在しないところの、ポリブタジエン又はポリブタジエン-スチレンにおけるメチルメタクリレート及びスチレンのグラフトコポリマー（メチルメタクリレート-スチレン-ブタジエングラフトコポリマー MBS）の安定化方法であって、

該方法は、以下の工程

a) 請求項1記載の式 (I) 、 (II) 又は (III) で表わされる立体障害性フェノール系抗酸化剤及びチオエーテルをMBSラテックスへ添加する工程；

b) MBSラテックスを凝固させる工程、及び、

c) 高温でM B S ラテックスを乾燥させる工程
からなる方法。